

9 まとめ

令和3年7月、中央教育審議会教育課程部会において「幼児教育スタートプラン」が策定され、すべての5歳児に、生活・学習の基盤を保障し、小学校教育に円滑に接続することなどが示されました。上尾市教育委員会においても、市内唯一の公立幼稚園として長い歴史をもつ平方幼稚園のこれまでの成果を、市内の幼児教育施設及び小学校へ広く周知し、共有することは、大変意義深く、本市の幼児教育のさらなる充実に資するため、本誌を作成する運びとなりました。

最も古い記録では、平方幼稚園は、昭和49・50年に埼玉県教育委員会の委嘱を受け、研究に取り組んでいます。本誌では、平成8・9年度の上尾市教育委員会委嘱研究のまとめから掲載いたしました。この間、各種教育実践報告発表も含めると、7つの実践に取り組んでおります。（本紙：沿革の概要参照）現在のように全てをデジタル作成、保存する時代ではないこともあり、残念ながら、研究文献を確認することは叶いませんでしたが、平方幼稚園では、常に研究の視点を持ち、着実に教育実践を積み重ねてきたことが分かります。

本誌は、これまでに携わった研究委嘱などの研究概要と成果、課題について改めて取り上げ、まとめ直したものです。詳細については、当時、研究冊子等としてまとめたものをそのままPDF化し、別冊資料という形で紐付けしております。当時の研究をそのまま掲載していることから、時代の変化とともに環境設定や手法等において、現在とは異なっているところはありますが、幼児教育の本質である子供の実態や反応に寄り添った教師のまなざしは、全く変わるところはありません。教育課程を基に、教育的意図をもって活動を設定し、丁寧に子供の姿を見取ることで、活動の効果を検証し、次の活動につなげていく研究の在り方は、まさに現在、重要視されている「カリキュラム・マネジメント」の視点と同様です。また、時代に合った教育課題に向き合うとともに、その時々々の幼稚園教育要領を丁寧に読み解き、目指す子供の姿を明確にしながら研究に取り組む姿勢は、今後も、各幼児教育施設等において大切にすべき事柄です。

さらに、本誌では平方小学校との連携推進事業についても取り上げています。立地的に特に恵まれた環境での取組ですが、参考にすべき点は多く、幼児教育スタートプランでも触れられている「小学校教育に円滑に接続すること」について、先駆けて取り組んだ事例です。幼児教育施設だけでなく、小学校においても、教育及び保育に生かしていただけたと考えております。

平方幼稚園57年間の教育実践の歩みは、決して、本誌のみで語れるものではありませんが、その一端を上尾市全域で共有し、上尾市の幼児教育の推進の一助としていただければ幸いです。